

群馬労働局と合同で大規模工場研修を実施しました。

～群馬県太田市の(株)SUBARU を訪問～

令和5年7月下旬に、群馬労働局主催の令和5年採用新任労働基準監督官を対象とした大規模工場の研修が(株)SUBARU 矢島工場(群馬県太田市)にて実施され、栃木労働局の新任労働基準監督官も参加しました。

同社は、航空技術を応用し、日本に「マイカー」という言葉を定着させたともいわれる「スバル360」を世に出した企業であり、現在も太田市にて自動車の製造を行っています。



工場内に展示された1958年式のスバル360

研修は、まずビジターセンターで同工場の概要等について説明を受けました。

工場の概要について説明を受ける新任労働基準監督官達。



工場敷地は広大なため工場内の移動には電気自動車を使用します。



トレーニングセンターで実施している訓練を体験しました。

ボール回しで「成功体験」等を目的とした訓練です。遊びのように見えて奥が深い訓練でした。





長年にわたり創意工夫し洗練され完成度の高い労働災害防止活動・労働安全衛生活動について説明を受けました。

労働災害防止のために、機械設備を使用した体感訓練や VR システムを使用した災害の疑似体験ができるコーナーを見学。



工場内を電気自動車で移動しながら、製造工程の1つ1つについて説明を受けました。



プレス機械、産業用ロボットなど、様々な機械が稼働して自動車を製造していました。

研修を通じて、最新の安全衛生対策について体感し、学ぶことができました。

研修にご協力頂いた(株)SUBARU 矢島工場の方々に感謝申し上げます。



群馬労働局の同期と記念撮影。
次は、本省中央研修で会いましょう。